

子ども・子育て支援新制度の円滑な施行 について

【担当省庁】内閣府、文部科学省、厚生労働省

来年度から新たな子ども・子育て新支援制度が開始される。

京都府においては、誰もが安心して子どもを産み育てやすい環境づくりを目指し、京都府子育て支援条例の制定、「きょうと子育て支援センター」の設置など子ども・子育て支援の充実を図ってきているが、未だ 180 人の待機児童が発生している等、引き続き幼児教育・保育の質・量の充実が必要である。

このため、子ども・子育て新支援制度の施行にあたって、以下の措置を講じていただきたい。

保育士等の処遇改善

◆ 保育士等の人材の確保・定着促進には、給与面での処遇改善が必要である。

このため、「**保育所運営費国庫負担金**」の**保育所職員の本俸基準額等**を引き上げていただきたい。

<内閣府・厚生労働省の概算要求>

◎ 子ども・子育て支援新制度の実施と「待機児童解消加速化プラン」の推進 事項要求

保育所整備推進のための「安心こども基金」の延長及び積み増し

◆ 京都府では、国の「子育て支援対策臨時特例交付金」を活用した「安心こども基金」を造成し保育所整備等に取り組んできたが、同基金は平成 26 年度までとされている。

保育所整備を引き続き推進するため、「子育て支援対策臨時特例交付金」の予算を確保し、「**安心こども基金**」の**期限延長及び積み増し**をしていただきたい。

<内閣府・厚生労働省の概算要求>

◎ 子育て支援対策臨時特例交付金 235 億円（安心こども基金分はこの内数）

【現状・課題等】

◎ 保育士と各職種の賃金構造比較

	年 収	勤続年数
全 職 種	468.9 万円	11.9 年
看 護 師	472.4 万円	7.4 年
福祉施設介護員	307.2 万円	5.5 年
幼稚園教諭	335.4 万円	7.5 年
保 育 士	309.8 万円	7.6 年

平成 25 年度賃金構造基本統計調査

小学校教員 年収 529.5 万円（平成 25 年度学校教員統計調査より推計）

◎ 安心こども基金の概要

(1) 保育サービス等の充実(厚生労働省分)	待機児童解消のための保育所等の創設や老朽改築による保育環境整備等に係る経費の助成
(2) 保育サービス等の充実(文部科学省分)	認定こども園整備や幼稚園耐震化促進等に係る経費の助成
(3) すべての子ども・家庭への支援	子育て支援施策に係る電子システム化の取組や東日本に伴う保育料減免等への支援に係る経費の助成
(4) ひとり親家庭等への支援の拡充	高等技能訓練促進費等の支給やひとり親家庭への就業支援に係る経費の助成
(5) 社会的養護の充実	児童養護施設退所者の就業支援や児童福祉施設等の生活向上のための環境改善に係る経費の助成
(6) 児童虐待防止対策の強化	児童虐待防止対策強化のための体制整備・広報啓発・環境改善等に係る経費の助成

◎ 京都府の基金の状況

(単位：億円)

H25 末残高	H26 執行見込額	H26 末残高見込
38	33	5

【京都府の担当課】

健康福祉部 子育て政策課 075-414-4727